

「渡辺晴夫塾」第4弾の掲載にあたって

この「渡辺晴夫塾」は、「10FEETの会」で築いてきたものに、指導者にとって「不易」の部分の学び直しを行い、さらに島根県のバスケットボールの「復活」を2大テーマとし、渡辺先生の指導場面を体感していくものです。午後1時からの実技指導では、渡辺先生は1回も椅子に座れることなく、マイシューズとマイホイッスルで選手の指導に奔走されます。さらに、指導の際に選手に語られる「ことば遣い」や「タイミング」、指導に立てられる「位置」、「視線の方向」など、無言で教示いただいていることがたくさんあります。その指導の中で語られる一言一言や、会員からの質問に丁寧に回答いただいた内容を、出来る限りもろさず聞き取りまとめたものが、6編に分けてまとめた「指導者編」「チームづくり編」「OFF基本編」「DEF基本編」「練習術編」「追究しまね編」です。

まずは、「指導者編（理念）」から読んでいただけたらと思います。島根県がミニ・中学校・高等学校・大学・一般へと、『島根のバスケット』を一貫して継承していくために、まずミニバスケットボールを指導する時期から、冒頭に述べられている、「指導する相手（選手）がいることにまず感謝すべきである。」から入りたいと考えます。

平成19年11月から始まった「渡辺晴夫塾」（現会員75名：2014.4.27現在）は、平成26年3月で37回を数えました。

「第3弾」では、第34回までの開催の中で、渡辺先生が昼のクリニック、夜の懇談会で語られた内容をご紹介します。この度の「第4弾」では、第35回から37回までの内容を追加掲載しています。さらに、昨年10月26日（土）に開催いたしました、拡大渡辺晴夫塾懇談会（パネルディスカッション）の様子を、議事録形式でご紹介しますのでご参照ください。

【ご注意ください】

この内容は島根県バスケットボールの発展のためにたくさんの方々のご努力によって、20年近くの歳月をかけて創り上げるものです。パスワード・IDを登録することによって閲覧できる形となっていますが、無断に複写し、他者へ提供したりなさいませぬようお願いいたします。今の子ども達が、将来指導者となって「島根のバスケット」を継承するために、我々が残す遺産として大切にしたいと思ひます。何卒ご理解とご協力をお願いいたします。



捲土重来